

(3) 持続可能な社会・経済の形成



① 高規格道路等ネットワークの形成

北海道では、人流・物流の大半を道路交通に依存しています。経済活動を支え、地域の交流や発展に寄与する高規格道路等の整備を促進します。

■ 高規格道路等の整備促進と機能向上

- ・ 地域間の交流拡大や地域医療の充実、地域経済の活性化などを図るため、国やNEXCO東日本などと連携し、高規格道路をはじめとする幹線道路の整備を行います。
- ・ 活力ある道民の生活や地域の活性化を支える道路整備を推進します。

【高規格道路等の整備】



【事業効果】

国道235号の門別町富川交差点は渋滞ポイントになっていたが、日高自動車道が開通したことで、ダブルネットワークが構築され、通過交通の速達性・定時性が向上した。

日高自動車道（日高門別IC～日高厚賀IC間）



【事業効果】

国道36号の大曲交差点における慢性的な交通混雑の軽減を図るため、新たにバイパス道路を整備することで、交通が分散され、通過交通の速達性・定時性が向上した。

道道仁別大曲線（羊ヶ丘通）



【事業効果】

道道鷹栖東神楽線などの旭川市街地における交通混雑を解消するため、新たにバイパス道路を整備することで、交通が分散され、旭川北ICや旭川空港への速達性・定時性が向上した。

ひがしかぐら

高規格道路 旭川東神楽道路（旭川市・東神楽町）

②物流交通ネットワークの形成

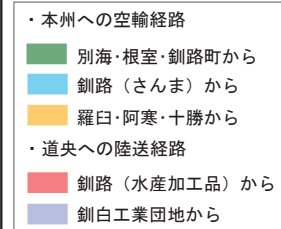
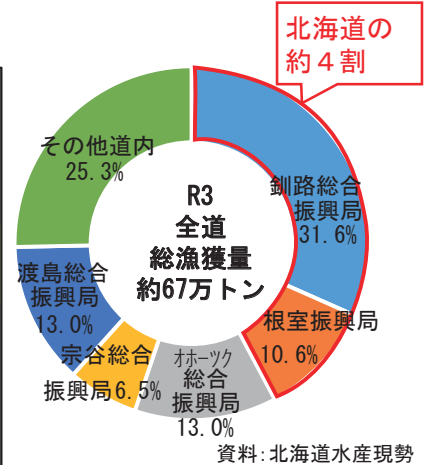
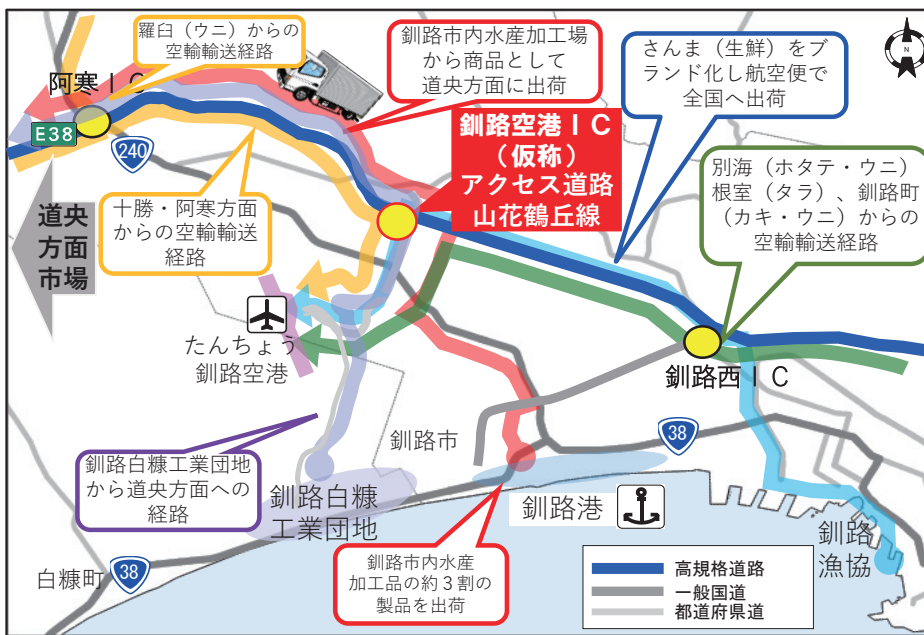
地域間の連携と交流を支える総合的な交通・物流ネットワークの形成、都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備を推進します。

■物流ネットワーク形成のための道路網整備

- ・ 空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路の整備を推進します。
- ・ 道州制特区推進法に基づき、国から道に移譲された事業※を着実に推進します。

※北海道開発のため特に必要と認められた道路で、本来の道路管理者に代わり、国が整備していたもの。平成22年度から道で実施。

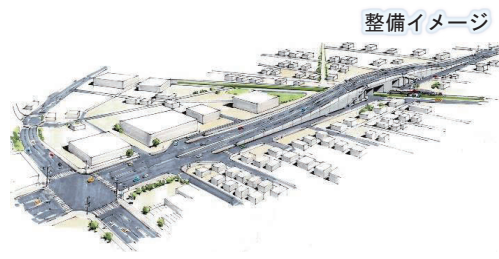
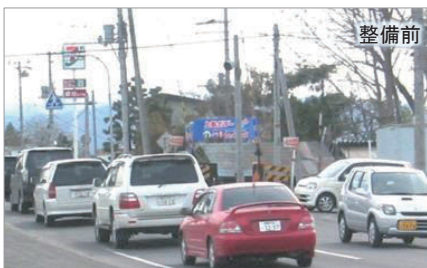
【ICへのアクセス道路整備】



釧路空港IC（仮称）新設とアクセス道路（山花鶴丘線）整備

【事業効果】

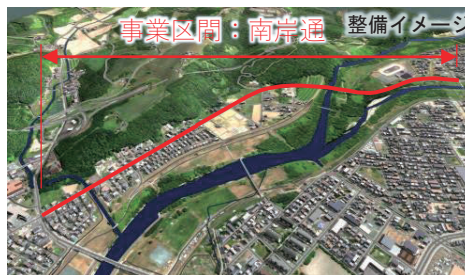
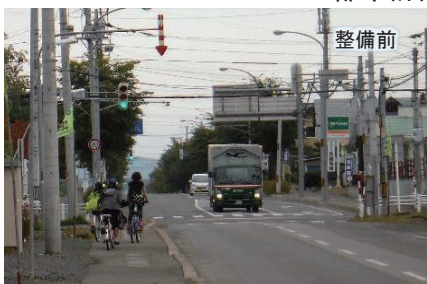
道東の空の玄関口である釧路空港と高規格幹線道路のアクセス向上を図ることによりインバウンドをはじめとする広域観光の振興や水産物などの物流の効率化、さらには大規模津波発生時における救援物資輸送路の確保など様々な効果が期待される。



【事業効果】

旭川市街地における交通混雑を軽減するため、渋滞が発生している踏切の立体交差化や4車線化により、安全で円滑な道路交通の確保や交通混雑の緩和が期待される。

都市計画道路永山東光線（愛別当麻旭川線）（旭川市）



【事業効果】

北見市都市計画マスタープランにおいて2環状6放射の「外環状軸」として位置づけられており、完成させることで、円滑な交通流動に寄与するとともに、市街中心部の安全性の向上、北見中央ICへのアクセス向上による物流等の経済活動の利便性向上が期待される。

都市計画道路南岸通（北見環状線）（北見市）

【道州制特区推進法に基づく国からの移譲事業の推進】



道道美唄富良野線（美唄市、芦別市）

【事業効果】

北海道縦貫自動車道へ最短で繋がる新たな道路を整備することにより、富良野市への新たな観光ルートの形成や十勝岳噴火時における人流・物流の確保などが期待される。



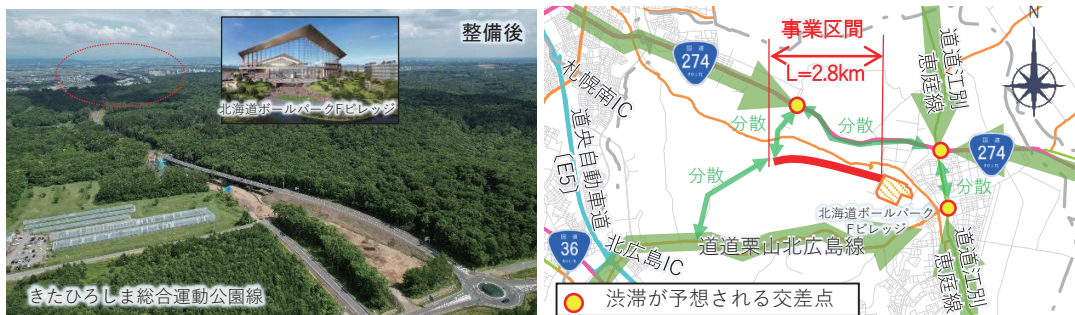
道道名寄遠別線（遠別町）

【事業効果】

名寄市と遠別町を結ぶ新たな道路を整備することにより、物流の効率化、災害による孤立の解消、医療機関へのアクセス向上などが期待される。

■都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備

・都市の円滑な交通を確保するための幹線道路等の整備を促進します。



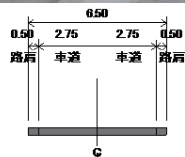
きたひろしま総合運動公園線（北広島市）

【事業効果】

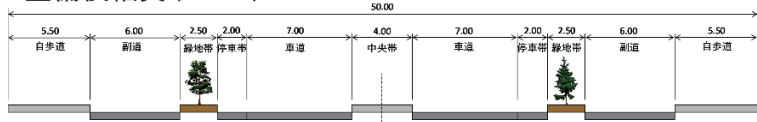
Fビレッジと国道274号を結ぶ新たな道路を整備する事により、開業後に増加する周辺道路の交通量分散を図り、安全で円滑な道路交通を確保できる。



整備前幅員
（幅員6.5m）



整備後幅員（50.0m）



都市計画道路弥生新道（幕別帯広芽室線）（帯広市）

【事業効果】

帯広市街地における交通混雑を軽減するため、南北を貫く放射道路の複線化により、混雑緩和が図られたほか、歩道を整備することで歩行者の安全が確保された。